



334複合地区スローガン
 温故知新—創造と挑戦とスピー
 ド、さらなる価値ある奉仕を

334-B地区スローガン
 「ありがとう」感謝の心で
 We Serve

岐阜西ライオンズクラブスローガン
 一致団結ライオンズ魂、日本から世界へ発信

2014年 3月 第一例会 769回
 3月11日(火) 於 ホテルグランヴェール岐山 12:15～

例会プログラム

第769回 結成記念例会

「例会」	司会	L.山本
1 開会ゴング	会長	L.小野木
2 国歌並びにライオンズクラブの歌斉唱		
3 ゲスト及びビジターの紹介		
4 慶祝行事(誕生祝)		L.小野木
6 会長挨拶		L.小野木
7 皆出席表彰	出席大会委員長	L.小林
8 選挙会		L.小野木
9 記念スピーチ		L.豊田
< 食 事 >		
10 幹事報告		L.大橋
11 各委員会報告		
12 テールツイスター登場		L.長谷部
13 出席報告	出席大会委員長	L.小林
14 会計報告	会計	L.広瀬(真)
15 閉会ゴング		L.小野木

会長・幹事報告

第769回 幹事報告

1. 上半期複合地区費、複合地区大会費を正会員49名 64,680円抛出(家族会員免除)
2. 上半期地区費、地区大会費を正会員49名338,800円 抛出(家族会員免除)
3. YCE活動協力金1,000円×49名=49,000円抛出
4. LQ活動協力金800円×49名=39,200円抛出
5. 福岡国際大会支援金1,000円×49名=49,000円抛出
6. 第60回334-B地区年次大会が5月8日(日)三重県営サンアリーナに於いて開催されます。大会リーフレットを配布します。参加希望の方は幹事までお申し出下さい。

会計報告

ドネーション	18人	金額	125,000円
ファイン	4人	金額	11,000円
Boxファイン		金額	円
合計	22人	金額	136,000円

出席報告

会員数	49人
出席数	44人
出席率	89.8%

次回例会案内

日 時: 3月25日(火)12:15から
 場 所: ホテルグランヴェール岐山
 例会名: 通常例会

慶祝行事

誕生祝 12日 L.広瀬真人 17日 L.黒瀬泰孝

会長挨拶

本日は文字通り当クラブの結成を記念する例会ですが、東北大震災発生からのちょうど3年目にも当たります。3年前のあの日、例会での話題の一つでした。東北で何か大変なことが起きているようだ、と話していたことを思い出します。夜例会でしたのでその時点では十分な情報がありませんでした。時間が経つにつれその災害の概要が判明するに至り、言葉をなくしました。今日も黙祷をささげながら、あの未曾有の災害の記憶がよみがえってきます。現地では徐々にではありますが、復興が進みつつあるようです。昨年暮れに政府は5.5兆円の補正予算を組みました。その中に東北復興予算として2兆円あります。約40%が振り向けられています。では震災以来どれくらいの予算が生まれ執行されたのか。震災後政府が見積もった被害額は16.7兆円でした。したがって復興予算を19兆円としました。これを2011年から2016年まで5年間に亘り執行することを決めました。ちなみに民間のあるシンクタンクの調査によれば直接被害のみに限定すればその復興見積もり金額は4兆円から5兆円もあれば十分とみえています。政府の予算はその5倍になります。

では、なぜ2014年にまた補正予算を組むのか？つまり19兆円は5年で使うはずが、3年経たずに使ってしまったことになり。3年で21兆円、岐阜県の年間GDPは7.2兆円ですからその3年分を使ったわけです。民間の支援はこれとは別です。本当に現地の人たちに必要な支援としてつかわれたのか？未だに困っている人が多くいるというメディアの報道はどうなのか？東北に国の予算が集中したためにそれ以外の地域に予算が不足してはしないのか？考えさせられます。震災直後古田肇岐阜県知事とお話した時、今後5年間は国の予算はすべて東北に行きます。岐阜県には回ってきません、とおっしゃったことが今でも私の脳裏に強く残っています。

多くの人たちの命を奪い、ふるさとを奪っていった悪夢のような現実は忘れられるものではありません。災害に遭うことなく、ただ呆然と眺めてたただむだけの我々には東北の皆さんのお気持ちは想像もできません。しかし我々にできることはただ祈るだけではありません。東北には国や自治体、各団体から多くの支援が寄せられていることでしょう。しかし必ずしも光はすべてを万遍無く照らすとは限りません。光が行き届かないところにこそ我々ライオンズクラブが活躍する場があるはず。そしてその場はもしかしたら我々のすぐ足元にもあるかもしれません。

もう1点お話ししたいことがあります。家族会員についてであります。昨年来家族会員の増強についての要請が、再三再四キャビネットより届いております。そのプレッシャーは日増しに強まり、現場の会長、幹事でないとご理解いただけないくらい厳しいものがあります。昨日は、松波地区名誉顧問が諮問委員会の席に参加されまして、熱弁を奮われました。3月末までに何らかの成果が欲しいとのことでした。

この問題は私の会長任期中に残された最大の課題と認識しております。3月末までには時間が無く難しいとしても、当クラブにおきまして何らかの対応をしなければならないと考えています。

会長 L.小野木 慶明



特別記事

記念スピーチ

「岐阜西ライオンズクラブの変遷とこれからの在り方」

現在、チャーターメンバーが11名おみえですが、一番若い私に今回スピーチの白羽の矢があたりました。

1982年(昭和57年)3月11日に岐阜西ライオンズクラブは51名の会員で発足しました。当時、私は38歳で、若いほうから3番目、油の乗り切った時期でありました。51名の会員が厳しい選考の中で選ばれ、岐阜伊奈波ライオンズクラブにエクステンションしていただきました。新クラブの我々は、右も左も分かりませんので、岐阜伊奈波ライオンズクラブのL.岡田保にご指導いただき、スタート致しました。私が一年目の年に新入会員を推薦した時、会員会則委員長から「一業種一名」という理由でお断りがありました。当時はそれほど選考も厳しかった時代でした。発足当初から25年間皆出席者は4名、30年は2名おります。チャーターメンバーの中にそういった方がお見えになるというのは、クラブとしても大変に誇りであります。

チャーターメンバー L.豊田 武



初代会長、L.早川博で始まり、結成1周年の時は本荘公園に記念植樹を行いました。1つの労力アクト、14の寄付や記念品の贈呈と、この年は事業数が15でした。結成5周年の時は会員数が59名で、会長はL.後藤賢一、岐阜西駅にベンチ6基を贈りました。また、岐阜中署に防犯用の広報車を1台寄付しています。今では考えられないほどの予算規模でした。7代目会長の時に、L.徳田をクラブからZCとして輩出。8代目会長L.廣瀬哲夫の年に、一泊研修旅行、北陸温泉山代温泉ホテル百万石で例会という思い出があります。結成10周年の時は、会長L.富田進、67名の会員数でした。「緑の学習路」というのをメモリアルセンターの下に造りました。500万の規模の事業でした。また、県内48番目、市内7番目の新クラブ「岐阜金華ライオンズクラブ」を誕生させました。1年間ガイディングライオンとしてL.廣瀬哲夫が尽力されました。13代会長L.後藤清七の時、L.廣瀬哲夫をZCとして輩出しました。この年、阪神・淡路大震災があり、かなりの義援金を贈らせていただきました。また、LCIF1,000ドル献金を45名が47口行いました。当時ですと500万くらいだと思います。15周年はL.青木誠二が会長、私が幹事でした。岐阜郷土の方の絵画を27校の各中学校に寄贈。そして、それを一同に集めまして中学生のための絵画展を県美術館で開催しました。振り返ってみると若い時はよく動き、よく労力アクトをしたと自負しています。ぜひ、今の若いメンバーも労力アクトでたくさんの汗を流してもらいたい。17代L.常川清が会長、この時L.徳田をRCとして輩出しました。「親子ふれあい鶴飼観覧の夕べ」はこの年度からスタートし、今も継続事業となっています。19代L.水井寛会長、この時L.後藤利夫をZCとして輩出。20周年を迎えた時は54名の会員数で、「21世紀中学生大討論会」を開催。この年「9.11アメリカ同時多発テロ」がありました。25代L.広瀬真人が会長、京都嵐山LCとの姉妹提携を結び、瑞穂市バスターミナルと、岐阜市鶴飼観覧船待合所に時計塔を寄贈しました。そして、27代L.水田誠会長の時にL.河合寛治をZCとして輩出。クラブから合計ZC4名、RC1名を輩出してまいりました。

よちよち歩きから始まった岐阜西ライオンズクラブも、今ではリーダーシップを取れるクラブへと成長した。このことをメンバー一人一人が誇りに、今後もさらなる実のあるアクトに取り組んでいきたい。

新会員セミナー

新入会員 L.久世 裕之



3月5日(水)大垣フォーラムホテルにおいて新会員セミナーが開催されました。当クラブからは大橋幹事と新会員の5名で参加いたしました。

前半はL.炭箆好司地区名誉顧問の講演を中心に行われ、後半はワークショップ形式で新入会員との交流会を中心に、今後のライオンズの活動について議論がおこなわれた。

我々はライオンズクラブの活動を通じて、社会貢献と、社会に求められる人間形成に努めていかなければいけないと感じました。



誕生祝



12日 L.広瀬真人 17日 L.黒瀬泰孝
お誕生日おめでとうございます。